

信頼性・安全性



あなたの会社の信用損失にも関わる品質・信頼性問題！

今こそ、その課題を解決するために必要な信頼性の知識・技術の基礎固めを！

「信頼性数理モデル」の理解や「信頼性データ解析法」が習得できるよう、信頼性解析に必要な公式と利用法に重点をおき、事例や演習を交えて初心者にも容易に理解、活用できるよう解説します。また、テキスト・演習問題は独自に書きおろし、現場での日常業務にもすぐ活用できるよう、わかりやすく編集しています。

コースの特徴

- 経験豊富な専門家・実務家を中心とした講師陣と充実したテキストにより、初心者でも十分にご理解いただけます。
 - 「信頼性数理モデル」や「信頼性データ解析法」など、独学では困難な内容にも対応しています。
 - 講義の後に演習を組み合わせているので、自ら問題を解くことでより一層理解が深まります。
 - 日頃抱えている信頼性の諸問題に対して、専門家が適切なアドバイスをします。
- ※本コース終了後、希望者対象に「初級信頼性技術者 資格認定試験」を実施します。

対象

信頼性担当業務に携わる方々、企画・開発・設計・生産・品質保証・検査・サービス・保全部門などの技術者の方々

会場

東京・日科技連ビル

講師

鈴木和幸（電気通信大学 教授）他、信頼性技術および信頼性管理に関して、実践経験豊富な実務家・専門家が指導にあたります

参加費

「信頼性セミナー基礎コース」受講のみの場合
70,350円（一般）／65,100円（会員）
「初級信頼性技術者 資格認定試験」も受験希望の場合
80,850円（一般）／75,600円（会員）

カリキュラム～4日間コース

	午 前	午 後
第1日目 9:15～18:10	I. 信頼性通論	III. 故障の確率モデル IV. 信頼性設計
第2日目 9:30～17:30	V. システムの信頼性と保全性	演習（1）
第3日目 9:30～18:30	VII. 信頼性データ解析法	VI. 信頼性試験と故障物理
第4日目 9:30～16:30	II. 信頼性管理	演習（2）
第4日目 17:00～19:00	初級信頼性技術者 資格認定試験（受験希望者のみ）	

回数	日 程
※1	Aコース（連続4日間） 6月9日（火）～12日（金）
	Bコース（前期・後期各2日間） 前期：6月9日（火）～10日（水） 後期：9月3日（木）～4日（金）
※2	Aコース（連続4日間） 9月1日（火）～4日（金）
	Bコース（前期・後期各2日間） 前期：9月1日（火）～2日（水） 後期：11月26日（木）～27日（金）
3	11月24日（火）～27日（金）

※第1、2回はAコース（連続4日間）とBコース（前期・後期各2日間）の選択制です。参加申込の際ご希望のコースを選択してください。

信頼性セミナー入門コース



製品の信頼性と安全性を確保するため、企画から市場に至るまでの各段階で、信頼性の思想と手法が有効活用され成果をあげることを意図し、信頼性管理活動や手法を4日間でマスターする実践重視のカリキュラムになっています。

コースの特徴

- 信頼性業務に携わる方々全般を対象とし、信頼性の思想と手法が有効に活用されることを意図した実践的なカリキュラムになっています。
- 実務経験豊富な講師陣による応用事例を豊富に加えた内容
 - 講義と時間内演習による実践的な指導
一部の科目でPCを活用した演習を行います。また、使用したデータはお持ち帰りいただけます（使用ソフトはExcel®です）
 - 確率紙による簡便でスピーディな解析方法の習得
 - 故障モデルの正しい理解とそれに基づく処置および評価方法の習得
- ※本コース終了後、希望者対象に「初級信頼性技術者 資格認定試験」を実施します。

対象

信頼性担当業務に携わる方々全般

会場

大阪・中央電気倶楽部

講師

実践経験豊富な企業在籍の講師が指導にあたります

参加費

「信頼性セミナー入門コース」受講のみの場合
70,350円（一般）／65,100円（会員）
「初級信頼性技術者 資格認定試験」も受験希望の場合
80,850円（一般）／75,600円（会員）

カリキュラム（前期・後期各2日間）

	午 前	午 後
前 期	第1日目 9:30～17:30	信頼性管理 信頼性管理の基本的な考え方（故障率・MTBFの予測方法等）、信頼性プログラム、信頼性管理（設計、部品材料、部品の接合・結合、工場〔工程〕、信頼性情報の収集と活用、信頼性管理の事例）
	第2日目 9:30～17:30	信頼性の基礎 故障と確率、信頼性の尺度：指数分布（平均故障時間、不信頼度、確率密度、故障率、MTBF等）、確率分布（指数分布関数、正規分布、対数正規関数、ワイブル分布）、離散型分布（二項分布、ポアソン分布）、活用事例と演習
後 期	第3日目 9:30～17:30	信頼性データの解析（PC・確率紙の演習） データ解析の考え方、確率紙を用いた信頼性データの解析（正規確率紙、ワイブル確率紙、累積ハザード紙）、データの種類と確率紙、活用事例と演習
	第4日目 9:30～16:30	信頼性・保全性設計 信頼性設計とは、開発のステップと信頼性設計、信頼性設計の手法、信頼性配分・信頼性予測、信頼性設計、保全性設計の基礎（保全性とは、保全性の尺度等）
	故障解析・評価方法の開発と信頼性の改善 故障解析（故障モード・故障メカニズム・故障モデル・再現実験等）、評価方法の開発（試験条件の決め方・評価開発方法の手順等）、信頼性の改善（故障メカニズムの確認・改善の実施と確認等）、活用事例	まとめ、総合質疑
第4日目 17:00～19:00	初級信頼性技術者 資格認定試験（受験希望者のみ）	

回数	日 程
1	前期 6月15日（月）～16日（火）
	後期 7月16日（木）～17日（金）

「信頼性は難しくわからない」「担当部署だけが知っていればよい」という認識をお持ちではないでしょうか？
 信頼性は品質保証のために必要不可欠のものであり、その基本と考え方を知ることは、新製品開発に携わる全ての方々に必要なことです。それでも、やはり難しくわからないという方々に、信頼性を学ぶにあたって、「これだけは知っておいてほしい」という項目に絞り込んでやさしく解説します。

コースの特徴

- 信頼性について関心を持っている方、これから信頼性に携わる技術者や管理者の方だけでなく、知識として知っておく必要のある営業部門の方や、海外拠点を管理する必要がある方など広い範囲の方を対象としています。
- 参加しやすいように1日で実施しています。
- できるだけ事例を用いて、わかりやすく解説します。

対象	これから信頼性について学びたいという方々
会場	東京・日科技連 東高円寺ビル
講師	石田 勉(電気通信大学 非常勤研究員)他、信頼性技術および信頼性管理に関して、実践経験豊富な実務家・専門家が指導にあたります
参加費	21,000円(一般) / 18,900円(会員)

カリキュラム~1日コース

9:00~17:30

午前	午後
信頼性とは ー信頼性の基本と重要な考え方ー 未然防止の設計手法	信頼性の造り込み 信頼性の評価 故障率とMTBF ワイブル解析 保全性とアベイラビリティ システム信頼性

回数	日程
1	6月15日(月)
2	11月17日(火)

信頼性・安全性

製品開発における信頼性の向上と造り込みセミナー

この10年間の製品開発を振り返ると、「商品開発サイクルの短期化」「生産のグローバル化」「技術の進展に伴う商品使用環境の変化」「製品の多機能化に対応する組み込みソフトウェアとの協調」など、以前と比較して大きく様変わりしています。本セミナーはこれらに対応するための一助として、従来の信頼性工学に加え、変化に対応するために必要な各企業の取り組み内容について整理し、これからの製品開発における造り込みの方向性について、具体的な事例をもとに紹介いたします。

コースの特徴

- 「変化に対応し、グローバル競走を勝ち抜ける信頼性のある商品を作るためにどうしたらよいか」という、信頼性の造り込みを模索されている方に最適のセミナーです。
- 製品開発の課題に対応した講義内容です。
- 各分野の第一線の技術者による事例を中心とした講義です。

対象	製品開発における信頼性の造り込みを推進・実施している、または実施しようとしている管理者・中堅技術者(電子・電気系、機械系、部品メーカー・セットメーカーに限らず、信頼性の造り込みに新たなアプローチを必要としている信頼性技術者)の方々
会場	東京・日科技連 本部ビル
講師	山 悟(富士ゼロックス株)他、信頼性技術および信頼性管理に関して、実践経験豊富な実務家・専門家が指導にあたります
参加費	39,900円(一般) / 36,750円(会員)

カリキュラム~2日間コース

	午前	午後
第1日目 9:50~17:15	信頼性の課題と今後の方向性	要素開発における信頼性の造り込み 使用・環境条件にもとづく信頼性の造り込み
第2日目 10:00~15:30	製品設計における信頼性の造り込み	ハードとソフトの協調開発

回数	日程
1	10月15日(木)~16日(金)

統計的故障率試験が広く使用されてきましたが、開発期間の短縮化や要求品質レベルの高度化で統計的確率論だけでは信頼性を保証できなくなってきています。取って代わる開発段階で故障を見逃さない信頼性評価の方法が求められています。本セミナーでは故障メカニズムにベースをおいて試験計画の立て方や実践におけるノウハウを紹介します。

コースの特徴

- 試験計画を立てるときや評価するときに必要な多くの故障メカニズムを習得します。
- 材料代替の際に知っておかなければならない信頼性試験のポイントについて説明します。
- 基本的な加速試験をはじめとして、広く結果を早く知る方法について学びます。

対象	信頼性業務に携わる方々全般
会場	大阪・中央電気倶楽部
講師	信頼性全般にわたり、実践経験豊富な講師が指導にあたります
参加費	49,350円（一般）／44,100円（会員）

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後
第1日目 9:30～17:30	故障物理に基づく信頼性試験 製品が壊れる基本事項を学び、商品弱点を知ることにより、想定される故障メカニズムから試験計画を組み立てる方法を習得する	分析データの活用による信頼性評価 お客様が使用中に発生してはならない故障メカニズムについて、分析・解析データの活用で故障前に評価判断をする知識を説明する
第2日目 9:30～17:00	材料部品切替のための信頼性試験 環境規制では材料の代替が行われた。その際培われた材料代替のための信頼性試験のポイントについて説明する	早く結果を知るための加速試験 加速試験を成功させるための基本知識を習得し、計画と実践の際に守らなければならないノウハウ例を学ぶ

回数	日程
1	10月5日(月)～6日(火)

信頼性技法実践講座：FMEA・FTA

—故障や事故を未然に防ぐための解析手法—

FMEA (Failure Mode and Effects Analysis 故障モード影響解析)・FTA (Fault Tree Analysis 故障の木解析) は新製品開発や製造工程等の潜在的故障要因を設計段階で抽出し、改善する手法です。この手法を活用することで、市場での故障を事前に予防し、故障・事故・リコールによる損失を防止することができ、ユーザーの信頼を得ることができます。本講座ではこれらの手法の基本が習得でき、解析事例と演習により実践的経験が得られます。

コースの特徴

- 実施例や講義時間内演習を盛り込んだカリキュラム構成により、短期間で実力がつきます。
- 講座の実施にあたっては、信頼性の実務に精通されている経験豊富な実務家・専門家が指導にあたります。
- 事例中心の講義内演習と、少人数によるグループディスカッション演習により理解を深めることができます。
- ISO/TS16949などの国際規格においても製品の設計FMEAと製造工程FMEAの実施を要求されています。

対象	企画・研究・開発・設計・技術・製造・品質保証部門などの研究者、技術者の方々
会場	東京・日科技連 東高円寺ビル、大阪・中央電気倶楽部、名古屋・ホテルオースプラザ
講師	高久 清（産業技術総合研究所）他、信頼性技術および信頼性管理に関して、実践経験豊富な実務家・専門家が指導にあたります
参加費	47,250円（一般）／42,000円（会員）

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後
第1日目 9:15～18:00	信頼性解析の概要 FMEAの実施法	FMEAの実施法(続き) FMEA演習
第2日目 9:00～17:00	FTAの実施法	FTAの実施法(続き) FTA演習

回数	日程	会場	回数	日程	会場
1	4月21日(火)～22日(水)	東京	9	9月29日(火)～30日(水)	大阪
2	5月14日(木)～15日(金)		10	10月1日(木)～2日(金)	東京
3	5月25日(月)～26日(火)	大阪	11	11月9日(月)～10日(火)	
4	6月1日(月)～2日(火)	東京	12	11月10日(火)～11日(水)	東京
5	6月23日(火)～24日(水)	名古屋	13	11月30日(月)～12月1日(火)	
6	6月30日(火)～7月1日(水)	東京	14	1月21日(木)～22日(金)	東京
7	7月30日(木)～31日(金)		15	2月16日(火)～17日(水)	
8	8月31日(月)～9月1日(火)		16	2月18日(木)～19日(金)	大阪

マネジメントシステムの一環としてのデザインレビューの導入・推進から実施法までを、最新の事例を交えて紹介します。また、グループ討議の形で行うケーススタディは、現役推進担当者の指導のもと「トヨタ式未然防止手法GD³—DRBFM手法」を用いて信頼性・安全性設計の予測評価の実施と、その具体的な改善対策を見いだせます。このような体験を通じ、業務で実践できるようにカリキュラムを構成しています。

コースの特徴

- 長年の実績（1977年開設）を基に、日本的デザインレビューの理念と実践を基調とした講座です。
- グループ討議の形で信頼性・安全性設計の予測評価を実施し、具体的な改善対策を見いだせます。
- 真のレビューアーを育成するために必要な「導入・推進・実施」のノウハウを、様々な企業の最新事例により習得できます。

※DR実施例会社（五十音順・予定）：(株)IHI, (株)デンソー, パナソニック(株), 富士ゼロックス(株), 富士通(株)

対象

企画・研究・開発・設計・生産技術・品質保証部門などの研究者、技術者、スタッフの方々

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル、大阪・中央電気倶楽部、名古屋・ホテルオースプラザ

講師

宮村鐵夫（中央大学教授）他、信頼性技術および信頼性管理に関して、実践経験豊富な実務家・専門家が指導にあたります

参加費

〈3日間〉
70,350円（一般）／65,100円（会員）
〈選択制・2日間〉
49,350円（一般）／44,100円（会員）

カリキュラム～東京・大阪コース、名古屋コース

	東京・大阪コース	名古屋コース
第1日目 9:15～17:00	デザインレビューとは デザインレビューのための手法	デザインレビューとは デザインレビューのための手法
第2日目 9:30～17:00	実施例1 実施例2 特論（リスクマネジメント、DRの勤所等）	現物によるケーススタディ （トヨタ式未然防止手法GD ³ の中のDRBFM手法を実施）
第3日目 9:30～17:00	現物によるケーススタディ （トヨタ式未然防止手法GD ³ の中のDRBFM手法を実施）	実施例1 実施例2 特論（リスクマネジメント、DRの勤所等）

回数	日程	会場
1	5月11日(月)～13日(水)	東京
2 [※]	6月2日(火)～4日(木)	大阪
3 [※]	7月7日(火)～9日(木)	名古屋
4 [※]	7月27日(月)～29日(水)	東京
5	9月14日(月)～16日(水)	東京
6	10月26日(月)～28日(水)	東京
7	10月28日(水)～30日(金)	大阪
8	1月18日(月)～20日(水)	東京

※6月開催（大阪）と7月開催（名古屋・東京）の講座は、第3日目の受講を選択することができます。お申込の際は参加費をご確認のうえ、2日間もしくは3日間のどちらかを選択してください。

顧客要求の多様化に伴い、企業では短期開発・グローバル化が進展しています。また、最近の事例に見られるように、商品安全につながる信頼性問題の発生は企業業績に大きな影響を与えます。製品開発段階で信頼性を確実に造り込むために、製品のライフサイクルで発生する問題の発生を効率的かつ効果的に確認することが求められています。本講座では、製品のライフサイクルで発生する問題を確認するための信頼性試験を、効果的かつ効率的に実施するための試験計画の作成や実施方法、結果の解析に必要なデータ解析・故障解析法などを経験豊富な講師陣が事例に基づき体系的に紹介します。

コースの特徴

- 信頼性試験を効果的・効率的に実施するための計画作成・実施方法や結果の解析について、体系的に考え方・進め方を習得できます。
- 演習を通じ、試験結果の解析方法（信頼性抜取試験の計画、ワイブル解析、アレニウスプロットなど）を体得する事ができます。
- 短期開発へ対応するための加速試験法やシミュレーションの利用について、基本的な考え方やその実際について、先進事例を通じて理解することができます。

※信頼性試験事例会社（五十音順・予定）：アイシン精機(株), 宇宙航空研究開発機構, エスペック(株), NECエレクトロニクス(株), ソニー(株), ソニーモバイルディスプレイ(株), 富士ゼロックス(株)

対象

研究・開発・設計・品質保証・生産・製造技術・試作・実験などに携わっておられる技術者、研究者の方々

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講師

山 悟（富士ゼロックス(株)）他、信頼性技術および信頼性管理に関して、実践経験豊富な実務家・専門家が指導にあたります

参加費

68,250円（一般）／63,000円（会員）

カリキュラム～3日間コース

	午前	午後
第1日目 9:20～18:00	序論	信頼性試験の考え方・進め方、演習 加速試験法
第2日目 9:30～17:30	信頼性試験の課題と対応	信頼性試験演習（計画と解析） 信頼性試験事例（1）
第3日目 9:15～17:00	信頼性試験事例（2） 信頼性試験事例（3）	信頼性試験事例（4） 信頼性試験事例（5）

回数	日程
1	6月16日(火)～18日(木)
2	11月4日(水)～6日(金)

製品・部品・材料の事故やトラブル対策でお悩みではありませんか？

海外で製造された製品の信頼性向上のための評価や解析は？

製品の高機能化，複雑化に加え，生産・調達のグローバル化の拡大，製品事故に伴うリスク対応など，故障解析力の強化が強く求められています。本講座では，これまで難しいと言われてきた故障解析を成功させるためのノウハウを，現在活躍中の専門技術者が各分野における具体的な事例に基づいて解説しますので，各社共通の悩みや問題解決の糸口やヒントを見いだせます。

コースの特徴

- 電子系・機械系の故障解析を同時に学ぶことができる「充実コース（3日間）」と，電子系・機械系のうち，いずれかを選択受講できる「分野別選択コース（2日間）」を設けております。
- 故障解析に関する多種・多様な調査・研究の成果を当講座用にまとめた専用テキストを使用します。
- 先進的な最新の故障解析事例を多数紹介します。

※故障解析事例会社（五十音順・予定）：宇宙航空研究開発機構，NECエレクトロニクス(株)，河野ME研究所，JFEテクノリサーチ(株)，日産自動車(株)，富士ゼロックス(株)

対象

研究・開発・設計・技術・品質保証部門などの技術者・研究者の方々

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講師

井原惇行（楠本化成(株)）他，故障解析技術に関して，実践経験豊富な実務家・専門家が指導にあたります

参加費

第1回：充実コース（3日間）
68,250円（一般）／63,000円（会員）
第2回：分野別選択コース（2日間）
57,750円（一般）／52,500円（会員）

カリキュラム

第1回〈充実コース(3日間)〉

第1日目	午前 9:20~	故障解析総論
	午後 ~18:00	故障解析を始めるにあたって 故障解析と信頼性試験(故障の再現)
第2日目	午前 9:30~	自動車における機械系の故障解析
	午後 ~17:15	LSIの故障解析 実装の信頼性と故障解析
第3日目	午前 9:30~	電子部品の故障解析
	午後 ~17:15	材料の故障解析のための物理解析技術 機械部品の故障解析

第2回〈分野別選択コース(2日間)〉

第1日目	共通受講	午前 9:20~	故障解析総論	
		午後 ~18:00	故障解析を始めるにあたって 故障解析と信頼性試験(故障の再現)	
第2日目	選択受講		電子系	機械系
		午前 9:30~	電子部品の故障解析	自動車における機械系の故障解析
			LSIの故障解析	機械部品の故障解析
		午後 ~17:15	実装の信頼性と故障解析	材料の故障解析のための物理解析技術

回数	日程
1	〈充実コース(3日間)〉 5月20日(水)~22日(金)
2	〈分野別選択コース(2日間)〉 10月29日(木)~30日(金)

※第2回の第2日目は電子系・機械系の選択制です。参加申し込みの際，ご希望のコースを選択してください。

信頼性技法実践講座：LSI信頼性セミナー

LSIに関する問題でお悩みのあなたに！ LSIに関する信頼性技術の基本内容から最新情報までご提供します！

LSIのプロセス技術者，デバイス技術者，製品設計技術者，信頼性技術者，生産技術者などのLSIメーカーの方々だけでなく，LSIユーザも対象とした，LSIに関する信頼性技術に絞り込んだ講座です。

従来の日科技連の信頼性関連セミナーでは「範囲が広すぎて，LSI技術者のニーズと合わない」と考えられていたLSI関連の業務に携わっておられる方々に最適の内容になっております。

コースの特徴

- LSIに関する信頼性技術に絞り込んだ内容です。
- 1日目はモノに即した信頼性を主体に，2日目は評価・解析のための手法・技術を主体に取り上げます。
- 演習では実際にパソコン（Excel®）を使用して，寿命データ解析を実施します。
- 指導講師はLSIに関する信頼性技術のエキスパートです。

対象

LSIのプロセス技術者，デバイス技術者，製品設計技術者，信頼性技術者，生産技術者などのLSIメーカーの方々およびLSIユーザの方々

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講師

二川 清（NECエレクトロニクス(株)）他，企業のLSIに関する信頼性技術のエキスパートが指導にあたります

参加費

49,350円（一般）／44,100円（会員）

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後
第1日目 9:15~18:00	信頼性の概要 パッケージの信頼性	LSI配線の信頼性 LSIデバイスの信頼性 最先端電子デバイスのためのESD障害予防技術
第2日目 10:00~16:30	寿命データ解析手法 (Excel®での解析ができるまで)	故障解析（故障箇所絞込みを中心に） 故障解析（物理的解析を中心に）

回数	日程
1	2月4日(木)~5日(金)



本通信講座は、信頼性担当業務に携わる方々、企画・開発・設計・生産・品質保証・検査・サービス・保全部門などの技術者の方々を対象として、「業務の都合または遠方によりセミナーへの参加が難しい」「担当業務以外のため社外セミナーに参加することが難しい」「自己研鑽としてスキルアップしたい」などの要望にお応えするため、実施しています。初めて信頼性工学を学ばれる方でも理解できるように書き下ろしたオリジナルテキストを使用しますので、信頼性技術・信頼性管理の考え方・進め方、理論、手法が効率的に習得できます。

講座の特徴

- 通信講座のため、ご自分の都合により、空いている時間・好きな場所で効率的に学習できます。
- テキストは、初めて信頼性工学を学ばれる方にも、わかりやすくていねいに解説しています。
- テキストで学習した後に課題に取り組むことにより、学習の効果が確認できます。

テキストと課題

テキスト：第1章～第6章の全6章で構成されています。テキストは3回に分けて送付します。各月に1章ずつ学習していただきます。

月	テキスト内容	月	テキスト内容
第1月目	第1章 信頼性の基礎	第4月目	第4章 信頼性設計(2)
第2月目	第2章 信頼性データ解析	第5月目	第5章 信頼性試験と故障物理
第3月目	第3章 信頼性設計(1)	第6月目	第6章 信頼性マネジメント

課題：各月の課題は、第1章から順番に、それぞれのテキストに準拠した問題が出されます。テキストで勉強した後で課題に取り組むことにより、信頼性の基本的な考え方、基礎的な手法についての理解度が上がります。課題では、電卓を使用した方がよい問題もありますので、√の機能がある電卓の用意をおすすめします。また、課題の個別添削により、理解度の向上が図れます。

対象

信頼性関連業務に携わっている方、新入社員～全ての階層の技術者および実務家の方々

期間

第3回 7月開講 6ヵ月間
第4回 1月開講 6ヵ月間

※受講期間の延長・中途からの受講はできません。

講師

信頼性工学の実務において経験豊富な指導講師が添削指導にあたります

参加費

42,000円（一般・会員とも）

製造物責任・製品安全基礎講座：PL・PS入門コース

(PL・PS入)

QM 1

今、企業には「ユーザーにとって安全な製品を提供していくためには」という前向きな姿勢が必要とされています。そのためにはPL、および安全と環境に対する企業の社会的責任（CSR）を確保する社内管理体制の整備・確立が必要不可欠です。こうした安全性品質保証活動を推進するためには、PS（製品安全）やPL、CSRなどの基本的な考え方を理解した品質保証スタッフおよびPSコーディネーターの養成が必要です。

本講座は、産業界、学界両分野から製品安全および製造物責任に関して、知識・経験豊富な指導講師陣の協力を得て開催していますので、貴社のPL対応、PS関連業務の企業体質、リスクマネジメントの強化のためにも、是非ご活用ください。

コースの特徴

- PL法、改正民事訴訟法、製品安全に関する基礎的事項を、経験の少ない方でも法律面から技術面まで十分理解できるように5つのカテゴリーに分けてわかりやすく講義・解説を行います。
 - ・PL問題の重要性と法律の理解
 - ・最近の欧米の動向、代表的裁判例の紹介と解説
 - ・製品安全を実施するための企業の取り組み
 - ・クレーム・訴訟への対応
 - ・疑問に対するQ&A
- 最新の国内外の情報を紹介します。

対象

製造物責任・製品安全に関わる企画・設計・品質管理・品質保証・法務・調査・製造・購買などの方々

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講師

北川俊光（関西大学 教授・辯護士）他、製品安全および製造物責任に関して経験豊富な斯界の実務家・専門家が指導にあたります

参加費

52,500円（一般）／47,250円（会員）

カリキュラム～3日間コース

	午前	午後
第1日目 9:20～17:00	製造物責任（PL）総論	PL法理（改正民事訴訟法を含む）の解説とその対応
第2日目 9:30～17:00	PL法理から見る製品安全対応とPL訴訟防御策	企業の社会的責任（CSR） 製品安全・環境問題 製品安全マネジメントの概要
第3日目 9:30～17:00	企業内製品安全活動と安全技術管理の要点	製品安全設計技術（原則と事例） 事前演習解説

回数	日程
1	6月8日(月)～10日(水)

製品の安全性はどこまで高めておくべきか？技術者・スタッフの製品安全技術の理解のために！

製品事故の防止に有効な、リスクアセスメントを実践するための具体的方法論であるR-Map（リスク-マップ）手法を習得いただけます。この手法により、様々な製品・システム・装置や部品等に内在する大小のリスクを、目に見える形で表現し、より確実なリスク対策を可能にすることで、消費者・使用者に安全な製品を提供することができます。

カリキュラムは事例を中心に構成しており、実際にR-Map手法を用いたケーススタディを実施しますので、より実践的に習得することができます。

コースの特徴

- 製品・部品などの安全性を確保するための考え方と方法論を技術面から習得できます。
- 製品事故事例、製品安全へのアプローチの基本が理解できます。
- 技術者にとって必要な「リスクアセスメント」、「製品安全技術(PSE)」が理解できます。
- 事例を中心に実際に手法を用いた「ケーススタディ」を実施することにより、講義の理解がより一層深まります。

対象

製造物責任・製品安全に関わる設計・開発・製造・品質管理・品質保証部門などの技術者・スタッフ・責任者の方々

会場

東京・日科技連ビル

講師

松本浩二（PSコンサルタント／R-Map実践研究会 統括主査）他、製品安全および製造物責任に関して経験豊富な新界の実務家・専門家が指導にあたります

参加費

44,100円（一般）／38,850円（会員）

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後
第1日目 9:20～18:00	事件事例に学ぶ—製品安全のあり方と社会の評価—	製品安全設計技術
第2日目 9:30～17:00	製品安全評価技術(リスクアセスメント)—リスクの評価と許容判断— セイフティ・モジュール—安全領域まで低減するための対策要素の組合せ—	ケーススタディ：リスクアセスメント リスクマップ(R-Map)手法による演習

回数	日程
1	9月16日(水)～17日(木)
2	2月1日(月)～2日(火)

New! 消費生活用製品メーカーのためのリスクアセスメント1日コース —リスク-マップ(R-Map)手法入門— (R-Map入門)

経済産業省が企業にリスクアセスメントの実施を求めるために、数値基準の入ったリスクアセスメントの導入を検討しています。この定量的なリスクアセスメント手法の代表例として「リスク-マップ(R-Map)手法」があります。本コースでは、消費生活用製品メーカーを中心に、R-Map手法を社内に導入するための基本的な事項を、事例を含めて説明します。

コースの特徴

- 事前評価段階でリスクを「見える化」できるR-Map手法を、1日で学べるコースです。
- 消費生活用製品メーカーを中心に、どこまでリスク低減したらよいか、その方法などを含めて説明します。
- 事例によるR-Map分析と対策案評価のポイントを学べます。
- 開発段階でのリスクアセスメント方法とポイントを学べます。

対象

消費生活用製品の製造・販売にかかわる事業者、工業会、消費者団体に所属される技術者・スタッフの方々

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講師

松本浩二（PSコンサルタント／R-Map実践研究会 統括主査）他、製品安全および製造物責任に関して経験豊富な実務家・専門家が指導にあたります

参加費

23,100円（一般）／18,900円（会員）

カリキュラム～1日コース

9:20～17:00

午前	午後
R-Map概論 発生した事故のR-Map分析	対策案のR-Map評価 開発段階からの安全設計 社内リスクマネジメントシステムの構築 質疑応答

回数	日程
1	5月25日(月)
2	10月26日(月)